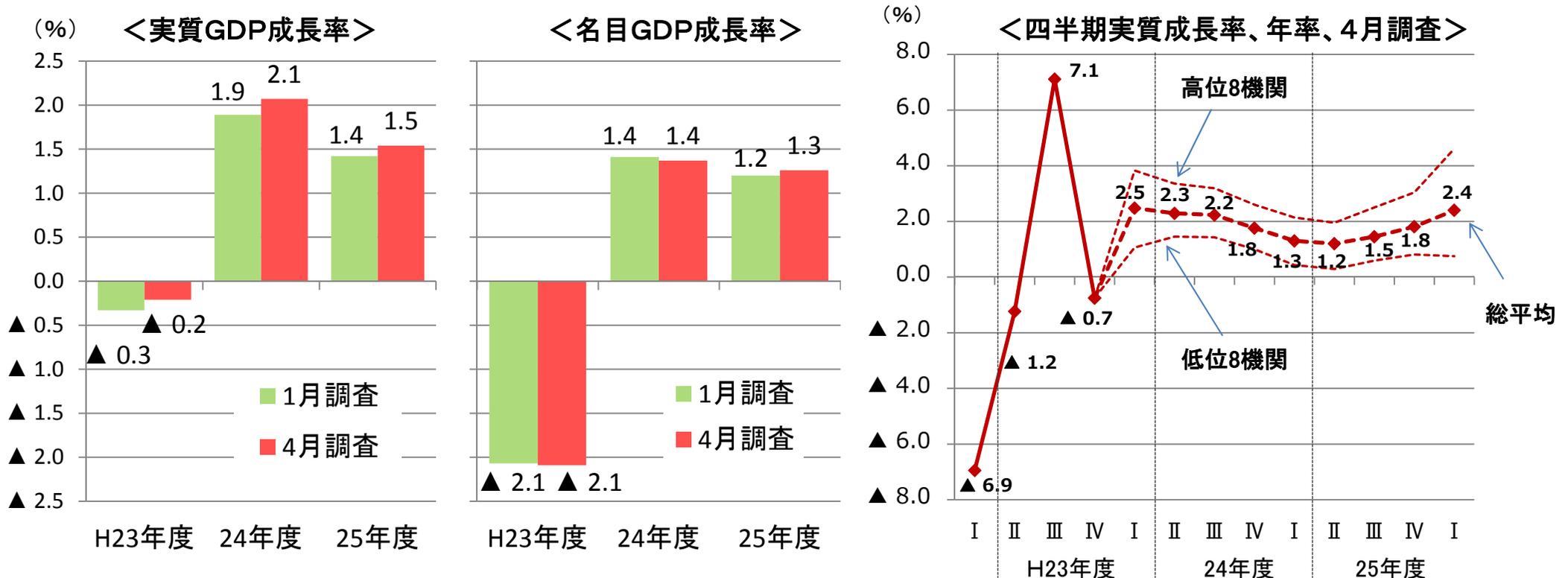


平成25年度までの経済動向（民間機関の平均的な見方）

- 平成24年度は復興施策が本格的に発現し、高めの成長。
 - 25年度の公共投資はGDP成長率へマイナスの寄与。25年前半は1%台前半（年率）の成長。
- 消費は、当面、政策効果（エコカー補助金）等を背景に堅調。
 - 消費税率引上げ（平成26年4月）前に駆け込み需要が消費を押し上げるという見方。
- 住宅・設備投資は被災地の復興や政策効果（住宅エコポイント）等を背景に増加を続ける。
 - 先行きのリスクから企業の投資態度は慎重との見方もある。
- 海外経済の緩やかな回復により輸出は増加を続ける。
 - 先進国の財政緊縮等により海外経済の回復が弱まるという下振れリスクも指摘されている。



(備考)「ESPフォーキャスト調査」(経済企画協会、日本経済研究センター)より。